

認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント シミュレーション教育プログラムの教育効果に関する予備調査：研究協力のご依頼

この研究の対象となる方

1. 療養型病棟またはホスピス緩和ケア病棟に勤務している看護師
2. 臨床経験3年目以上の看護師
3. 現在、認知症高齢がん患者のケアに携わっている看護師または、これまでに認知症高齢がん患者のケアに携わった経験のある看護師

研究の目的と意義

痛みは、がん患者の症状のうち最も発現頻度が高い症状ですが、認知症高齢がん患者の場合は、心身の状態を適切に表現できず、過小評価、過小治療、誤った薬物療法を受けるリスクがあることが報告されています。適切に痛みを訴えることが難しい認知症高齢がん患者の疼痛を緩和し尊厳を守ることは、日常生活全般のケアに継続的にかかわる看護師の責務であると考えます。

我々は、認知症高齢がん患者に対する看護師の疼痛マネジメントの実践力を高めるために、看護師の臨床判断を導くまでのプロセス（知識・思考過程・感情）の変容を促すシミュレーション学習を取り入れた教育プログラムを作成しました。

本研究は、作成した認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメントシミュレーション教育プログラムの教育効果を検証することを目的としています。

ご協力いただく内容

日時：2022年3月5日（土曜日）13時～18時予定
（研修プログラムとインタビュー時間を含む）

場所：札幌市立大学桑園キャンパス予定

1. 約4時間の教育プログラムに参加いただきます。
2. 研修前後に質問紙調査に回答いただきます。
3. 研修後にグループインタビューにご協力いただきます
（教育プログラム終了後：60分予定）

謝金 5000円（クオカード）交通費を含みます

ご協力のご意向がある方はご連絡ください
右記QRコードからお申込みいただくか

下記メールアドレスに
氏名、所属、メールアドレスをご連絡ください
m.kawamura@scu.ac.jp

申し込み締め切り2022年2月14日まで

お問合せ先

札幌市立大学 川村三希子
011-726-2639
m.kawamura@scu.ac.jp

